

令和2年度 健康くまもと21推進会議 食の安全安心・食育部会
議事録

開催 令和2年10月30日（金）

場所 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面により開催

出席委員 16名（五十音順・敬省略）

一井治代、岡崎淳司、澤村裕美子、高岡辰生、谷口千代子、中村智美、中村好郎、
長濱一弘、平川恵子、牧尾幸美、丸山隆、三浦勲、三浦弘文、南久則、宮崎留美子、
山田理佳

●次第

1 議事

議題1 第3次熊本市食の安全安心・食育推進計画「食の安全安心の確保」の進捗状況について

議題2 第3次熊本市食の安全安心・食育推進計画「食育の推進」の進捗状況について

議題3 令和2年度からの新たな取組の紹介

議題4 令和5年度 取組目標値の変更について

2 報告

報告1 新型コロナウイルス対策に関連した取組について

●議事概要

議題1 第3次熊本市食の安全安心・食育推進計画「食の安全安心の確保」の進捗状況について

承認：16名 不承認：0名

【意見】

（澤村委員）

大規模な食品製造・調理施設、高齢者・子ども対象の給食施設への監視指導が、過去5年間の食中毒発生状況が減少傾向（発生件数）にあり功を奏していると思う。

（事務局）

今後も、食品等事業者が「HACCPに沿った衛生管理」を実施できるよう支援し、食中毒の予防と食品の安全性確保を推進します。〈食品保健課〉

（丸山委員）

「新型コロナウイルス対策に関連した取組について」で記載されているとおり、テイクアウトや宅配事業を行う飲食店などの増加は今後も続くと考えられます。そのため、これら新たなトレンドへの衛生管理の徹底について強化していただきたい。

(事務局)

今後も、食品営業施設の実態をよく把握しながら、柔軟に対応し、適切な監視指導を行ってまいります。また、新たな業態、食品の取扱を希望する飲食店・事業者等に対しては、随時、相談を受け付け、必要な営業許可の取得、施設の整備、衛生的な食品取扱い等についてアドバイス及び指導を行ってまいります。(食品保健課)

(宮崎委員)

今年はコロナの影響で、外食機会も大幅に減少しました。その中でお店選びをする時には、風通しが良く、日頃からきれいで衛生的な面を考慮しました。生産から、綺麗な環境の下で作られた食品に安全性を感じます。

(事務局)

清潔で、整理、整頓された調理室は食品の安全を確保するための基本であることから、今後も食品等事業者による自主的な衛生管理を指導・支援してまいります。

また、熊本市では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策が確認できた飲食店を、「感染拡大防止実践店」として認定し、専用ホームページで紹介していますので、参考にしてください。(食品保健課)

(三浦勲委員)

V-(1)「災害に備える食を含めた、食の安全性や栄養等に関する理解の促進」に関連し、託麻原校区では令和2年9月に小学5～6年生を対象に防災キャンプを実施した。その中でサバイバル飯やペットボトルピザを作り、非常時での食の安全、栄養構成等を学びました。

(事務局)

地域の小学生に対して、平時から災害時に備えた食育の推進についての取組は、大変重要な取組であると思います。特に子どもにとっては、非常時の防災食を「食べ慣れておく」ことも、食の備えの重要な部分となります。各区が実施している「防災食育講座」の中でも、パッククッキング(家庭版真空調理)についての調理実習を含め市民への啓発を行っております。特に西区では地域のリーダーの方を対象に教室を行い、リーダーの方から地域への啓発の取組も実施されております。(健康づくり推進課)

議題2 第3次熊本市食の安全安心・食育推進計画「食育の推進」の進捗状況について

承認：16名 不承認：0名

【意見】

(長濱委員)

郷土料理は、学生食堂で紹介できるか確認します。県外出身者へのアピールにもなると思います。

(事務局)

崇城大学の学生食堂には、現在も本市と協働での食育の取組を実施いただいております。郷土料理については、若い世代への食文化の伝承のための取組として御協力をよろしくお願いいたします。(健康づくり推進課)

(澤村委員)

令和元年度の取り組みにあたって、各々の分野での活動がしっかり実施されている状況がよくわかりました。

(事務局)

今後も、各分野で食育の推進を継続してまいります。(健康づくり推進課)

(山田委員)

2020年度の重点的に行う取組において、家庭での食育を重点的に推進することは、コロナ禍において重要なことだと思います。若年層向けにSNSを使った周知啓発に注力をお願いします。

(事務局)

若年層への食育の推進として、料理の基礎を学ぶための動画の作成と配信を予定しております。また、食のホームページや市の公式LINE等を活用して様々な食育情報を引き続き配信してまいります。(健康づくり推進課)

議題3 令和2年度からの新たな取組の紹介

承認：16名 不承認：0名

【意見】

(山田委員)

事例紹介(新規)に記載の取組は、北区のみのものですが、他区においても新たな取組を行っていく必要はないのでしょうか？食育の取組はぜひとも全区において実施をお願いしたいと思います。

(事務局)

食育については、各区特徴を持った取組を全区において実施しております。北区の取組は、事例の一つとして紹介しております。

今後も、市民の食育に関する機運の醸成のため、新たな取組の手法を駆使しながら食育を実施してまいります。(健康づくり推進課)

議題4 令和5年度 取組目標値の変更について

承認：16名 不承認：0名

●その他のご意見

(長濱委員)

コロナ対策、ご苦労様です。本学の学生食堂が健康づくりに協力できるか調べておきます。

(事務局)

崇城大学の学生食堂においては、平成22年より西区役所保健子ども課企画の食育月間のイベントにご協力いただいております。ここ数年は、学生の皆様に野菜摂取の必要性を啓発するため、前日に食べ

た野菜の量をお皿に乗せ、必要量との比較をしていただく「野菜量り」や、食育に関するアンケートに御協力をいただいております。

また、学生厚生課の御協力で新入生のオリエンテーションの際に、食育資料の配付をお願いしております。今後共、行政と連携した食育の取組の継続をどうぞよろしく願いいたします。〈健康づくり推進課〉

(澤村委員)

令和2年度は、コロナ禍の状況にあり事業実施に難しいところがありますが、できる範囲での協力をしたいと思っております。

(事務局)

栄養士会の皆様には、食の専門家として、食の安全安心・食育の推進のための取組を引き続きよろしく願いいたします。〈健康づくり推進課〉

(谷口委員)

各世代に対する食育は大事なことだと痛感しています。(若い時からの食生活が生活習慣病につながり、高齢になり介護が必要な状態になるため)

(事務局)

生涯にわたって間断なく食育の推進が図られ、市民が年齢やライフスタイル等に応じて望ましい食生活を実践していけるよう、外部団体の皆様と協働で、各世代の食の課題解決のための食育に取り組んでまいります。〈健康づくり推進課〉

(山田委員)

元気アップアプリの普及促進を図り、ミッションの中で良い食行動につながるようにしむける等、今あるツールの有効活用も考えていただければと思います。

(事務局)

健康アプリを活用し市民が楽しみながら食からの健康づくりができるよう、今後連携を検討してまいります。〈健康づくり推進課〉

(中村委員)

私は各食品に含まれる添加物について不安を持っています。次世代の子ども達を添加物漬けにしたくないので、今後はHACCPの役割は重要になると考えます。各企業が食品の危害要因(添加物)を分析し、危害要因の除去に努めていくことを望みます。また、熊本市環境総合センターには衛生科学班があり、食品添加物の検査も行われているようなので、各企業のHACCP実働につながっているのか、検体を取って調べて欲しいものです。結果をホームページや広報で知らせていくのも環境総合センターの役割ではないかと思えます。

(事務局)

熊本市では、食品保健課の食品衛生監視員が熊本市内の製造所や販売店等から食品を採取し、環境総合センターで基準に違反していないか分析・検査しています。検査結果については、毎月、熊本市ホー

ムページ上の「安全安心のひろば」に掲載しています。なお、本年度は環境総合センターでの新型コロナウイルス感染症の検査を優先し、食品の採取・検査を行っていないため、公表された検査結果はございません。

年間の検査結果（概要）は、「熊本市食品衛生監視指導実績報告」にも掲載しています。熊本市ホームページ上の「安全安心のひろば」で、ご覧になれます。

食品の検査結果は、これからも様々な機会を通じて、積極的に公表に努めていきたいと思えます。〈食品保健課、環境総合センター〉

（一井委員）

議案（議題）の（３）（４）については、新たな取組と先をみこした R5 年度までの目標値が見直されていて、大変よいと思う。

今後とも、この部会の活動内容などが、さらに推進されることを願います。私もその一員として励んでいきたいと思えます。

（事務局）

学校等における、食の安全・安心と食育の推進に関する取組は、教育関係の皆様のご努力下、学校教育活動全体を通じて総合的に推進いただいております。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

〈健康づくり推進課〉

（岡崎委員）

新型コロナウイルス対策取組について食の状況が変化していることがとても大切なことと感じました。今後も部長を通じて食の安全性確保の為に様々な議論を通じて熊本市 PTA 内でも展開できるよう働きかけていきたいと思えます。

（事務局）

コロナ禍での子ども達とその保護者の皆様の食の安全・安心と食育の推進のため、引き続きご協力をお願いいたします。〈健康づくり推進課〉

（平川委員）

コロナの中、安全安心の活動を今一度、考えてみたいと思っています。

（事務局）

コロナ禍での食を通じたボランティア活動は、様々な制限もあると思えます。しかしコロナ禍での理想なお家ごはんの推進は、食生活改善推進員協議会活動の原点である「お隣さん、お向かいさんへ」の活動に係っていると思えます。今後共、市民の健康増進のためのボランティア活動をよろしくお願いいたします。〈健康づくり推進課〉

（高岡委員）

基本方針の第 6 「食品衛生に係る人材の養成」について、具体的に。

（事務局）

令和 2 年度熊本市食品衛生監視指導計画 P 1 4 「第 6 食品衛生に係る人材の養成及び資質の向上

に関する事項」へのご意見、ありがとうございます。

食品衛生監視員等については、国や関係機関が開催する研修会等への派遣や、内部研修を通じて資質の向上を図っていきます。

食品関係等事業者につきましては、食品衛生責任者養成講習会や実務講習会を通じて、食品衛生に関する新しい知見を習得できるよう支援して参ります。

ご意見は、来年度の監視指導計画を策定する際の参考とさせていただきます。〈食品保健課〉

(宮崎委員)

コロナ禍による小中学校の休校時、地域によって子ども達の昼食支援に差があると聞いています。子ども食堂等の弁当配布に救われている子ども少なくはないと思います。再度そのような事態が発生した時は、行政の方で昼食の配布を考えるか、無理なら子ども食堂等に特別補助金や食材等の支援を行い、もっと多くの子ども達が健やかで居られるよう望みます。

(事務局)

熊本市農業協同組合様におかれましては、日頃より食材のご寄付をいただいております。誠にありがとうございます。市では子ども食堂の開設や運営に係る費用を助成しており、弁当配布においても助成の対象としております。また、企業等からの食材の支援を拡大できるよう、引き続き幅広い広報に取り組んで参ります。〈子ども政策課〉

(牧尾委員)

コロナウイルスに振りまわされている世の中ですが、食育に関する取組を様々な所でされており、食に対する関心の高さ、重要性を感じています。今後の各団体様の活躍を期待しています。

(事務局)

コロナ禍においても、食育の取組が滞ることなく実施できるよう、関係団体や地域の皆様と協働で食育の推進に努めてまいります。〈健康づくり推進課〉